

# 福祉のかけ橋

平成10年1月号 第16号



マーシ園でふれあい軽作業

## 住民参加の福祉

南山見地区社会福祉協議会

会長 前川正夫

社会の進展と共に、福祉社会実現の課題も増大するとき、今までの与えられた福祉から、一変して、住民自らの手で住みよい福祉の町づくりへと転換しつつあります。

このため、自分達の福祉、地域社会の福祉はどうしたいのか、またそのためには何をなすべきかと言う、福祉に寄せる熱意を注ぐ度合により、地域間の福祉活動に自然格差が生じます。

こうした課題にとりくもうとすると、**「住民参加の福祉社会実現」**の、理想のもとで、ボランティア活動や隣人どうしの支えあい等、温かい思いやりの心が掘りおこされる処に、真の福祉が発展すると思えます。これから**県民福祉条例、介護保険制度等の政策**に併せ、更に福祉活動の充実を図るため、共に最善を期したいものです。

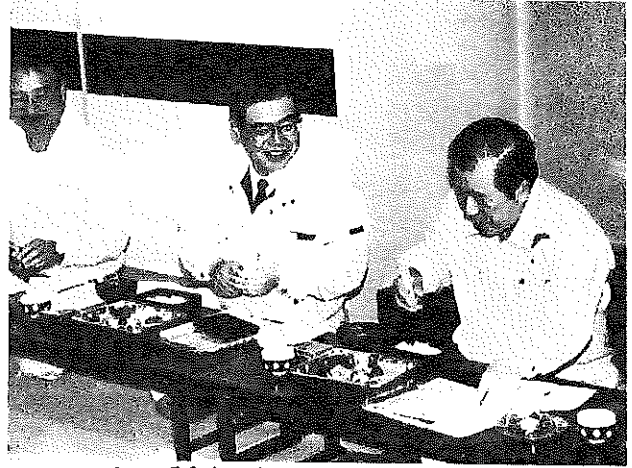
## 知事の町まわり

知る葉G 山本静子

晴天の平成九年五月二十三日、町まわりにこられた知事さん一行の昼食を、知る葉グループで作ることになり、喜んで公民館へ行きました。弁当は、八乙女山の山菜で作ろうと、前日に素材採りを楽しみながら作った献立で、ミニ託老所で作る古風な味付けをもとに、田舎風煮しめ・山菜甘酢あえ・あお菜のピーナッツあえ・口取り・みそ汁・搗たてのコシヒカリ御飯。色どりも鮮やかワァ美味しそうと見とれました。早朝から作った須川会長のヨモギ餅を添えて出来あがりです。

昼食をすまされた知事さんは、調理室を覗かれて、「母ちゃんおもしろかったよ、こんな御馳走いつも作っているの」と、声をかけて下さいました。

知事さんと記念写真撮り、楽しい思い出になりました。



ミニ託老所弁当の試食

演題 八乙女福祉カレッジ  
住みたくなる町づくり

富山女短講師 内慶瑞氏

平成九年七月二十四日内先生を迎え、第一回講座を開催しました。福祉が専門でしたので、町づくりの条件、最低生活者対策、ボランティア活動の強化等、多くのご体験を基にご講演いただき大変参考になりました。

八乙女福祉カレッジ

演題 地域社会とボランティア

伏木高校長 養口勝美氏

第二回福祉カレッジは、八月二十七日南山見公民館で、講師に県立伏木高校の養口校長先生をお迎えして、次のご講演を拝聴しました。

地域の福祉は温かい人の輪を広げることですから、親しく言葉を交わしあい、地域活動のお世話などを通じ、互いに支えあう処に思いやりのある福祉が育ち、一緒に生きる喜びも道徳も育ちます。

ボランティア活動は、自己表現つまり「自分らしさ」の提供で、地域の活性化へとつながります。

常にゆとりをもつよう心がけ、人にも、花にも、そうして、優しい一声を忘れないようにと結ばれました。

(前川記)

八乙女福祉カレッジ  
 演題 これからの福祉

双葉グループ 岩崎保子

十月二十八日、第四回八乙女カレッジに、県西部社会福祉事務所長五十嵐信義氏を講師にお招きし、「これからの福祉について」ご講演いただきました。講演要旨は次のとおりです。

☆介護保険制度について

平成十二年度より実施される介護保険制度について、各方面から改革に着手しているとの事でした。

☆新保育制度について

これ迄の市町村が入所を決めた仕組みから、保護者が保育所に關する十分な情報をもとに、選択出来る様になった。

☆県民福祉条例について

少子高齢社会への対応や障害者の自立と参加型福祉社会に關する施策の推進等について、県民福祉条例の観点から、ご説明をお聞きしました。

平成9年度 南山見地区社協事業と予算

◇ 収支予算

収入		
科目	金額円	付記
会費	160,000	一般130千 役員 30
補助金	530,000	町県・社協
寄付金	10,000	一般寄付
繰越金	125,209	
雑収入	24,791	
計	850,000	

支出		
科目	金額円	付記
会議費	10,000	諸会議
事務費	30,000	需要費・役務費
事業費	750,000	地域福祉 320,千 参加型 310, 育成 120,
負担金	10,000	
諸費	50,000	
計	850,000	

収支残金なし

◇ 主な事業

- 1 地域福祉活動事業
  - 高齢者の歳末慰問
  - 一人暮らし老人友愛訪問
  - 広報「福祉のかけ橋」発行
  - 先進地福祉事業視察
  - 福祉基盤整備調査（記念誌）
- 2 参加型福祉社会推進事業
  - 一人暮らし老人会食サービス
  - ミニ託老所指導育成・敬老会
  - ボランティアもう一人運動
- 3 福祉活動育成事業
  - 八乙女カレッジ
  - ミニ託老所世話方研修会
  - 交通安全マスケット作り

## 氷見市の福祉視察

谷 山本綾子

先進地視察は、十月三十日、氷見市速川公民館で、速川地区の福祉及びボランティアの活動状況を見聞してきました。

私達が一番気に留まったことは、公民館に常任理事が一名おられ、地区社協の皆さんが運営しやすいように、行事も電話連絡網で日時や講師などをお知らせしてくだされ、それによって、各種団体の協力も得られるそうです。

またランチサービス（七十才以上）は、年十回で一人二百円を集め六百円で作り、会食後ゲートボールやペタンク等をして楽しんでおられ、不足分は資源回収にも協力して資金作りをするそうです。

配食サービスは、年三回公民館で作り、六十五才以上の一人暮らし老人に、民生委員が十日前に一度訪問してから配るそうです。

ボランティア養成として、小学

生が鉢花を栽培して一人暮らし老人と寝たきり老人宅へ届ける等、地域ぐるみの活発な活動を行っておられました。私達も今後の参考に、地区に合った活動が出来るようにみんなで頑張りたいものです。

### 第九回ボランティア

もう一人運動

県ボランティア活動強調月間の提唱に習い、十一月二十八日福祉法人マーシ園で、南山見地区ボランティアもう一人運動を実施しました。

幸い天候にも恵まれて婦人会・老人クラブ・母親クラブ等々の皆さんがこの趣旨に賛同くださって、総勢三十名で、園生さんの作業の手伝いをさせていただきました。

作業は、手袋結束・電子部品の接続等ですが、園生さんに教えていただき、楽しいふれあいの一日となりました。（箭原憲次郎記）

## 切り抜き情報（福祉とやま） 新保育制度

これまで、子供がどの保育所にはいるかは市町村が決めていました。

改正法では、保護者が希望する保育所を市町村に申し込むことになったほか、申し込み児童数がその保育所の定員を上回ったとき、市町村が公正な方法で選考することになりました。

また、保育料の負担方式は、これまで所得に応じて保育料金がかかる応能負担から、保育費用を基礎に児童の年令に応じた定額に変わります。

号数	発行	所在	発行者
第一六号	平成一〇年一月号	富山県井波町川原崎	南山見公民館
		南山見公民館	南山見地区社協

◎読んだら綴りましょう